

# 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	日本史B	3	英語・人文	選択	4
使用教科書 ・副教材等	詳説 日本史B 改訂版 (山川出版社) 日本史のライブラリー (とうほう)、ウイングコンパス日本史の整理と演習 2017 (浜島書店)				
学習目標	わが国の歴史の展開を、世界史的視野にたち総合的に考察させ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人の資質を養う。				

## 授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期中間 考查まで	第3部 近世 第7章 幕藩体制の展開  第8章 幕藩体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 武断政治から文治政治への幕政の方針転換が、どのような政治的、社会的条件のもとでなされたのか、その背景を明らかにする。</li> <li>・ 幕政は平和と秩序を展開し、町人の経済的・文化的活動は活発化し、元禄文化を開花させたことを理解する。</li> <li>・ 本百姓体制は崩れ、幕藩体制が動揺するなか、幕府は三大改革を実施したが、事態は深刻化し、19世紀には外国船の接近という内憂外患の危機があったことを理解する。</li> </ul>
一学期期末 考查まで	第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本の開国と幕藩体制の崩壊を内外情勢の具体的動きのなかで理解し、その歴史的意義を考える。</li> <li>・ ペリー来航以降の内外情勢を捉え、明治初年の維新期に近代化の諸改革を遂行し、立憲政体の樹立に努め、後半は議会政治の定着と資本主義の確立、対外的には日清・日露戦争が展開された一連の流れを理解する。</li> <li>・ 条約改正と法典の整備を行い、内に近代国家体制を整えつつ、外に国家の自主独立を求めたいきさつを理解する。</li> <li>・ 資本主義の発達の光と影を考察する。</li> </ul>
一学期中間 考查まで	第10章 二つの世界大戦とアジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大正期に入り、日本は帝国主義列強の一員として国際政局に登場し、第一次世界大戦、満州事変、日中戦争、第二次世界大戦と太平洋戦争全面戦争へと突進する。この間、大正デモクラシーの風潮も圧殺され、軍部支配体制が国のすみずみにまで及んだことを理解する。</li> <li>・ 政党と官僚・軍部・藩閥との対立抗争、特に第一次護憲運動から第二次護憲運動に至るまでの政治・経済の動向を考察する。</li> <li>・ 文化の変遷を時代背景とともに理解する。</li> </ul>
一学期期末 考查まで	第11章 占領下の日本  第12章 高度成長の時代  第13章 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦争の敗北によって日本は外国軍に占領された。占領期の民主化政策と1950年初めの独立回復の動きを国際政治の動向を踏まえて理解する。</li> <li>・ 独立後の日本は高度経済成長を達成し、経済・文化大国としての道を歩んだ光の部分を理解するとともに、その影では公害問題等が発生した事実を考察する。</li> <li>・ 経済大国として成長した日本は1990年代の冷戦終結という新しい世界情勢のなかでどのように行動してきたのかを理解し、今後の内外情勢を考察する。</li> </ul>
学年末 考查まで		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史を踏まえて、日本の現状と課題を考察する。</li> <li>・ 日本史Bの総括として、学習の深化を図るために日本の歴史をレポートにまとめる。</li> </ul>
評価方法	【関心・意欲・態度】 授業態度・ノート整理等 【思考・判断・表現】 定期考查・発表 【資料活用の技能】 授業態度・発表 【知識・理解】 小テスト・定期考查	